

国際シンポジウム「平泉と東アジアの政治拠点」のご案内

1 目的

12世紀に奥州藤原氏が拠点とした平泉は、都市的な特徴を有するとともに、仏教思想が深く関わって造営され、現世に仏国土（浄土）を表したとされたことから、世界遺産一覧表にも記載されている。

本シンポジウムでは、都市論と同様に重要な視点でありながら、これまで検討される機会が少なかった政治・行政拠点としての平泉の特質について、東アジアのさまざまな事例をとおして、明らかにしようとするものである。

2 主催

岩手大学、岩手大学平泉文化研究センター、岩手県、岩手県教育委員会

3 日時

令和6年（2024）7月6日（土） 午前10時から

4 会場

岩手大学北桐ホール（岩手県盛岡市上田3-18-33、教育学部（A21）2F）

5 対象

研究者、一般 100名程度

6 内容及び日程

10:00 開会行事

10:10 趣旨説明

10:15 「政治拠点としての平泉の様相」

櫻井友梓（岩手県教育委員会）

11:05 「平泉以前の地方政治拠点 古代城柵から有力者居館へ」

古川一明（元多賀城跡調査研究所）

11:55 昼食休憩

13:10 「平安京周辺の政治拠点—白河・鳥羽殿・法住寺殿・宇治—」

杉本 宏（京都芸術大学）

14:00 「中国の政治拠点：遼上京、遼慶州、北宋開封、南宋杭州」

劉 海宇（山東大学）

14:50 「政治拠点としての寺院成立とその背後の仏教思想-百済後期と高麗初期の例-」

金 天鶴（東国大学）

15:40 小休憩

16:00 討論

進行：佐藤嘉広（岩手大学）

17:00 閉会行事

7 当日の使用言語

日本語

8 参加費

1,000円（資料代ほか）（シンポジウム受付で現金にてお支払いください。）

9 交流会

日時：令和6年（2024）7月6日（土） 午後6時30分から

会場：サンセール盛岡（住所：〒020-0883岩手県盛岡市志家町1-10）

会費：6,000円（シンポジウム受付で現金にてお支払いください。なお、当日など、直前のキャンセルは固くお断り申し上げます。）

10 参加申込方法

参加を希望される方は、令和6年（2024）6月28日（金）までに、下記リンク先に設置されたGoogle フォームにてお申し込みください。リンク先：<https://forms.gle/dvwzqs8FUQCYqjf87>

11 その他

ご不明な点は、下記担当までお問い合わせください。

担当：岩手大学平泉文化研究センター 佐藤嘉広 メール：yoshisat@iwate-u.ac.jp、fax：019-621-6529